

11 月は AMR 対策推進月間です

抗微生物剤(抗菌薬)の不適正使用(不必要な使用や量・期間を誤った使用)により、抗微生物剤が効かなくなる、または効きにくくなる事を「薬剤耐性(AMR: Antimicrobial Resistance)」といいます。抗菌薬の効かない薬剤耐性菌が増えれば、従来は適切に治療を行えば回復していた感染症も、薬が効かなくなって重症化し、最悪は死に至る危険性も高まります。AMR のまん延を食い止めるには、必要な時に必要な分の抗菌薬の使用が不可欠です。また、治療のために必要な薬を自己判断で中止する事なく、医師に相談しながら最後まで飲み切る事が大切です。

【全数把握対象疾患】

類型	報告件数	備考
1 類感染症	0 件	
2 類感染症	結核 3 件	40 代 女性 1 名、60 代 男性 1 名、80 代 男性 1 名
3 類感染症	0 件	
4 類感染症	レジオネラ症 1 件	70 代 女性 1 名
5 類感染症	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)1 件 梅毒 1 件 百日咳 2 件	20 代 男性 1 名 50 代 男性 1 名 10 代 女性 1 名、70 代 女性 1 名

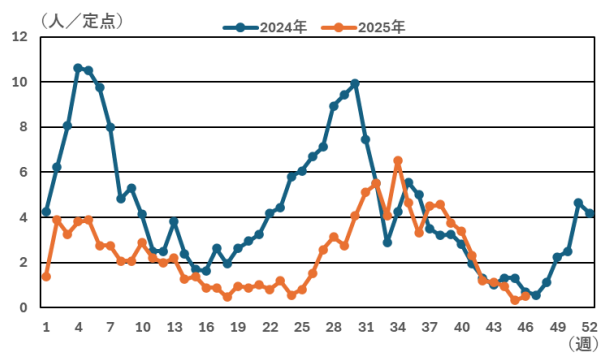
【定点把握対象疾患】

感染症	板橋区	東京都
新型コロナウイルス感染症	定点当たり報告数 0.50 (前週 0.31 前年同週 0.69)	定点当たり報告数 1.00 (前週 1.04 前年同週 1.28)
インフルエンザ	定点当たり報告数 47.00 (前週 22.50 前年同週 1.38)	定点当たり報告数 44.75 (前週 29.03 前年同週 2.09)
感染性胃腸炎	定点当たり報告数 3.30 (前週 3.50 前年同週 2.20)	定点当たり報告数 5.41 (前週 4.27 前年同週 3.68)
急性呼吸器感染症 (ARI)	定点当たり報告数 95.88 (前週 73.25)	定点当たり報告数 100.53 (前週 82.91)

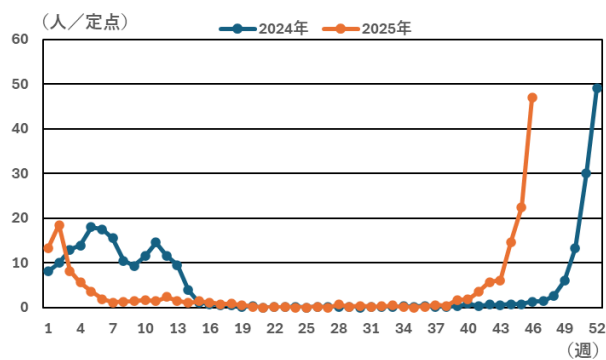
【定点把握対象疾患 推移グラフ】

週報告の定点把握対象の感染症について、定点医療機関当たりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。

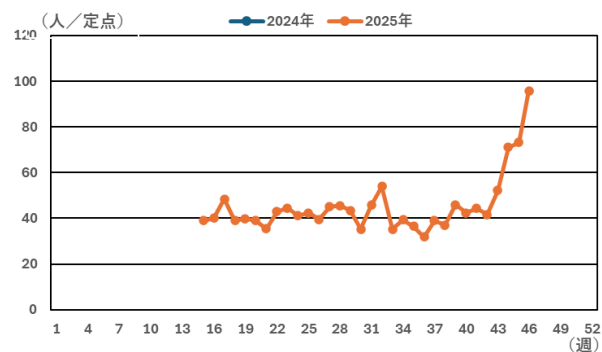
新型コロナウイルス感染症



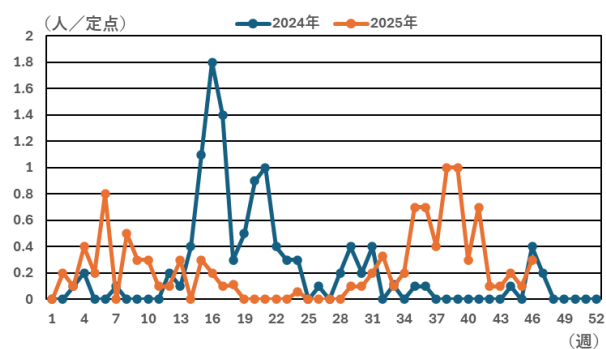
インフルエンザ



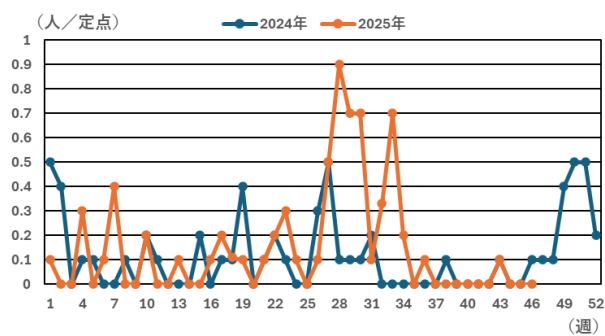
急性呼吸器感染症



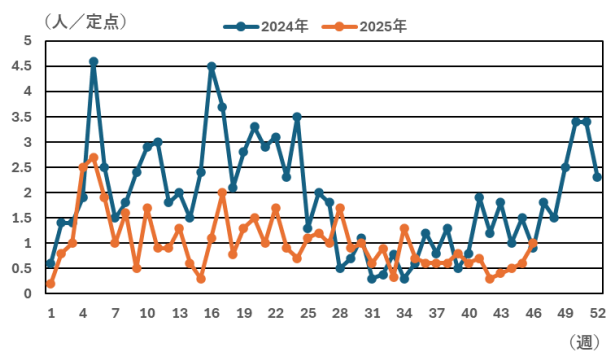
RS ウイルス感染症



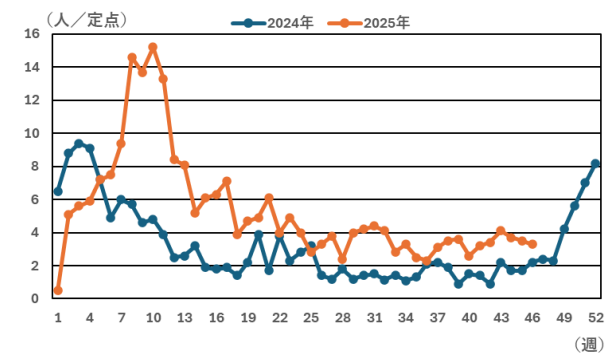
咽頭結膜熱



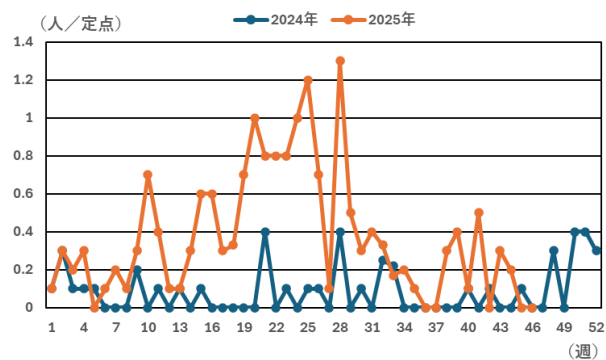
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



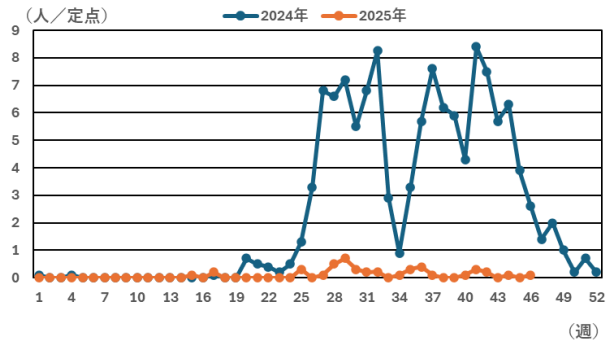
感染性胃腸炎



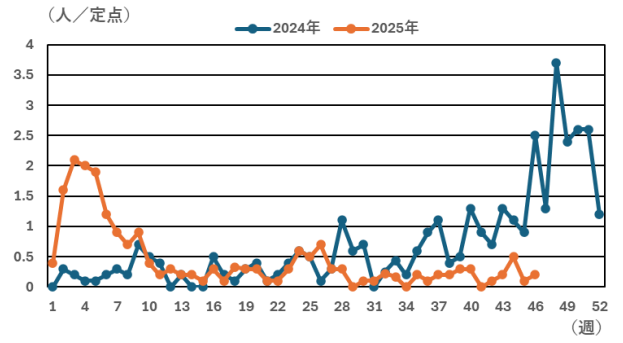
水痘



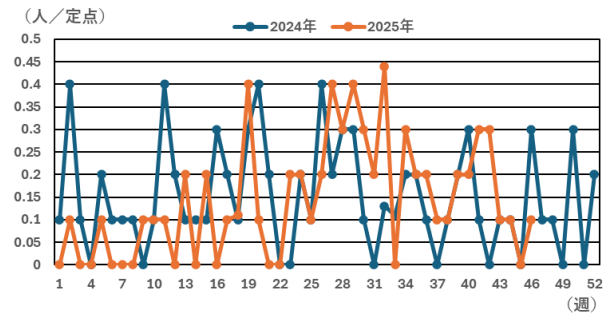
手足口病



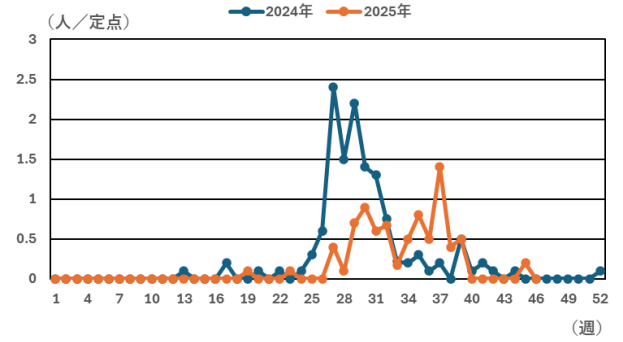
伝染性紅斑



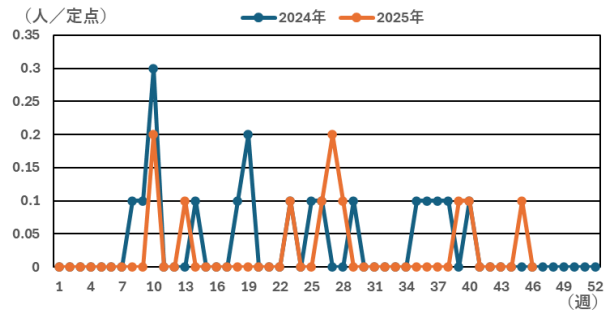
突発性発しん症



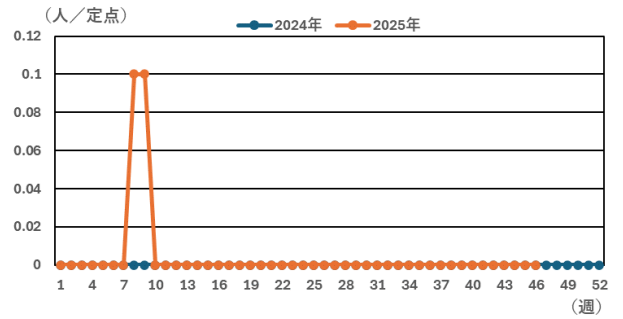
ヘルパンギーナ



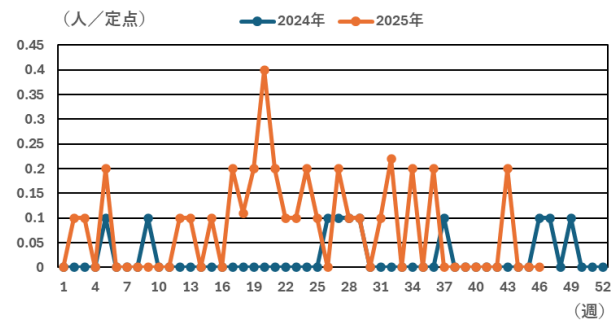
流行性耳下腺炎



川崎病



不明発しん症



【感染症集団発生状況(新規)】

インフルエンザ	12 件	保育施設 12 件
感染性胃腸炎	1 件	高齢者施設 1 件

※令和 7 年 11 月 21 日現在の情報により作成しています。

※全数把握疾患は発生届を受理した件数です。発生届は、診断した医師が最寄りの保健所（医療機関の管轄保健所）に届け出ることであります。よって、届出数は区内患者数と一致しないことがあります。

※定点あたり報告数とは、1 週間に一つの定点（医療機関）あたり何人の患者の報告があったかを表す数値です。報告数の合計÷定点観測所数＝定点あたり報告数(人/定点)です。流行状況の把握、比較をする場合に有効です。板橋区内では、小児科定点 10 か所、内科定点 6 か所、眼科定点 2 か所、性感染症定点 2 か所、基幹定点 1 か所、疑似症単独定点 2 か所が指定届出機関（定点医療機関）として指定されています。

※令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の 5 類感染症に移行しました。同日以降は本報でも定点把握疾患として掲載しています。

※令和 7 年第 15 週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症（ARI）が追加されました。

板橋区保健所 予防対策課 感染症対策係